

■南長浜まちづくり検討の経過

- ◇ 7月2日 南長浜まちづくりワークショップ @さざなみタウン
 - ・ 南長浜地域の「強み」「弱み」「将来求める地域像」「必要な要素や仕組み」についてワールドカフェ方式のワークショップを開催
 - ・ 参加者50名 ※地元住民、大学生、市内外の事業者などが参加
 - ・ “「自然」を活かしたまちづくり”など意見が多く見られた
- ◇ 7月7日 第1回 南長浜地域まちづくり共創会議 @市役所本庁
- ◇ 7月7日 第1回 南長浜地域まちづくり検討会議 @市役所本庁
 - ・ 市内外の若い世代や事業者（プレイヤー）、専門家を委員に迎え、南長浜のまちづくりを検討年間6回の会議を通して、まちづくりの「コンセプト」策定を目指す
 - ・ 第1回は、7/2のワークショップをもとに各委員の専門視点から見解をいただいた
 - ・ 将来のまちづくりを検討する上で、“時間軸”を共有することが重要と共通認識
→黒壁を参考に文化の定着など考慮し20-30年後を想定
- ◇ 8月22日、8月24日 現地フィールドワーク
 - ・ 検討会議委員と共に南長浜地域を縦走するフィールドワークを開催
 - ・ 地域への基礎的な理解や現状把握が必要であることから、施設等（学校や病院、里山や名所地、六荘地区・西黒田地区・神田地区の各まちづくりセンター等）を訪問し、地域の現状や課題、大切にしている思いを確認
- ◇ 8月31日 現役世代及び将来世代インタビュー@各まちづくりセンター
 - ・ 20年、30年先の未来を見据え、地域住民の皆様が何を思い、何を感じているかインタビュー
 - ・ 『武蔵野美術大学』及び『株式会社日本総合研究所』の協力を得て、実施
 - ・ インタビュー対象者

1. 長浜南中学校に通う生徒さん	5. 市内に在住しながら市外の大学に通う学生さん
2. 長浜農業高校に通う生徒さん	6. 南長浜もしくはその周辺で生活する20～30歳台の方
3. 長浜バイオ大学に通う学生さん	7. 南長浜もしくはその周辺で生活する40～50歳台の方
4. 滋賀文教短期大学に通う学生さん	8. 南長浜もしくはその周辺で生活する60歳台～の方
 - ・ インタビュー内容及び結果の概要
 - ① 今感じている南長浜の良さについて
→自然の豊かさ、田園風景、地域のお祭りなど地域との関わり、ほどよい便利さ
 - ② 未来(2050年)の自分、家族や友人、南長浜や社会について
→自然が残る地域、ゆったりとした生活が送れる場所、子どもが遊べる場所、環境エネルギーに地域で取り組める場所、地域のお祭りや関わり、交通便利性向上
- ◇ 9月1日 第2回 南長浜地域まちづくり検討会議 @長浜カイコー
 - ・ フィールドワーク、インタビューの会議委員内共有
 - ・ コンセプト策定にかかる手順等を『武蔵野美術大学』及び『株式会社日本総合研究所』の協力のもと、2050年の地域に生きる「未来の市民像（ペルソナ）」を創造し、コンセプトを検討していくこととなった
- ◇ 10月3日 第3回 南長浜地域まちづくり検討会議 @神田まちづくりセンター
 - ・ これまでのワークショップ、インタビューから作成した「未来の市民像（ペルソナ）」を検討会議委員内で共有・議論し、ブラッシュアップ作業を実施
 - ・ 6人のペルソナが誕生
 1. 10-20代前半の大学生世代：向井 太郎
 2. 70代の単身世代：青木 京子
 3. 30-40代子育て世代：斎藤 湊
 4. 30代の2世帯同居：柴 拓実
 5. 40代の南長浜来訪者：川上 楓
 6. 30代の移住者夫婦2人世帯：豊田 正人
- ◇ 10月31日 第4回 南長浜地域まちづくり検討会議 @六荘まちづくりセンター
 - ・ 未来の市民像（ペルソナ）を中心に「将来必要な資本」を議論

□ 自然資本	□ 人的資本
□ 社会関係資本	□ 人工資本
 - ・ 未来エコシステムマップを作成していくことで、コンセプトを固めていくこととなった
※エコシステムとは…様々な資本が相互に連携し、共存していくことで今あるサービスを維持したり、新しい価値を生み出す仕組みのこと